



宿泊旅行調査 2007



2007年8月2日

株式会社リクルート 国内旅行カンパニー

株式会社リクルートの国内旅行カンパニーに設置されたじゃらんリサーチセンター(センター長: 沢登次彦)では、この度、全国約1万人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん宿泊旅行調査2007」を実施しました。

この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う旅行実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。

昨年度1年間(2006年4月～2007年3月)における国内での宿泊旅行の実態について、その行き先や回数、旅行費用などの調査をし、今年で3回目の実施となります。主な結果は以下の通りです。

<TOPICS>

●昨年度1年間(2006年4月～2007年3月)の全国の宿泊旅行※者数は、延べ約1億7,400万人(昨年比2.8%減)。延べ宿泊数は約2.93億泊(昨年比5.0%減)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べてやや減少している。

宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数が、2.78回→2.77回と微減し、昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合が、66.1%→64.7%と減少している。これは、昨年度「愛・地球博」効果によって宿泊旅行実施者の裾野が広がったものが、一昨年の水準に戻ったことなどが影響していると推測される。

.....P3

※ 宿泊旅行・・・国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

●全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は約8.6兆円で、昨年と比べてやや減少している。

1回あたりの宿泊旅行にかけられた費用はほぼ横ばいであり、費用総額の減少は延べ宿泊数の減少の影響を受けたものと思われる。

.....P4

●「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」「宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先」は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。

.....P5

■《テーマ別・都道府県ランキング》

・地元ならではのおいしい食べ物が多かった	1位	高知県	2位	北海道	3位	石川県
・魅力のある特産品や土産物が多かった	1位	沖縄県	2位	京都府	3位	長崎県
・魅力的な宿泊施設が多かった	1位	沖縄県	2位	大分県	3位	長崎県
・地元の人のホスピタリティ(おもてなしの心)を感じた	1位	沖縄県	2位	鹿児島県	3位	青森県
・子供が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
・若者が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	沖縄県	3位	大阪府
・大人が楽しめるスポットや施設が多かった	1位	千葉県	2位	京都府	2位	沖縄県

..... P6・7

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

調査概要

◎調査名 じゃらん宿泊旅行調査2007

◎調査方法 インターネットによる調査

◎集計・分析手法

平成17年10月1日現在国勢調査人口(総務省統計局発表)および1次調査結果を用いて、全国の宿泊旅行者の母集団を推計。次に、2次調査の集計・分析にあたり、推計された宿泊旅行者の母集団における都道府県・性年代別構成比に基づいてウェイトバックを行い、構成比のずれを補正した。

また、旅行費用について、異常値が平均値に大きな影響を与えることを避けるために、トリム平均(※1)を行った。

(※1)トリム平均とは…データの異常値を取り除き、データの精度を高めるために、データ全体の上限と下限から一定の割合のデータを削除した後、データの平均をとる統計処理手法。本調査では、上下合計0.5%の範囲にあるデータを削除するトリム平均を実施している。

◎調査の概要

<1次調査：旅行実施率を算出>

◎調査時期 2007年4月9日～17日

◎調査対象 全国20～79歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

◎配信数 85,777件

◎調査内容 昨年度1年間(2006年4月～2007年3月)の国内宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の有無について

◎回収数 50,000件(回収率58.3%)

◎集計対象数 20,000件 ※回収された5万件のうち、都道府県別・性年代別に割付を行い、2万件を抽出した。

<2次調査：本調査>

◎調査時期 2007年4月18日～25日

◎調査対象 1次調査において、昨年度1年間に国内宿泊旅行をした、と回答した人

◎対象者数 31,804件

◎配信数 13,563件 ※配信数は対象者の中から都道府県別・性年代別の割付に従ってランダムに抽出した。

◎調査内容 昨年1年間に実施したすべての宿泊旅行(出張・帰省・修学旅行などを除く)の行き先と回数について、また1人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。

◎回収数 10,280件(回収率75.8%)

◎集計対象数 10,280件

◎回答者の属性

<1次調査>

全体	男性	女性	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳					
20,000 (100.0%)	10,349 (51.7%)	9,651 (48.3%)	20,000 (100.0%)	5,919 (29.6%)	6,698 (33.5%)	7,383 (36.9%)					
全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県
20,000 (100.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	600 (3.0%)	1,000 (5.0%)
千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県
1,000 (5.0%)	1,200 (6.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	400 (2.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	600 (3.0%)	400 (2.0%)	1,000 (5.0%)
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
200 (1.0%)	200 (1.0%)	600 (3.0%)	1,000 (5.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	400 (2.0%)	600 (3.0%)	200 (1.0%)
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	1,000 (5.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)	200 (1.0%)

<2次調査>

全体	男性	女性	全体	20～34歳	35～49歳	50～79歳					
10,280 (100.0%)	5,238 (51.0%)	5,042 (49.0%)	10,280 (100.0%)	3,143 (30.6%)	3,121 (30.4%)	4,016 (39.1%)					
全体	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	栃木県	群馬県	茨城県	埼玉県
10,280 (100.0%)	513 (5.0%)	105 (1.0%)	101 (1.0%)	205 (2.0%)	103 (1.0%)	101 (1.0%)	203 (2.0%)	207 (2.0%)	207 (2.0%)	309 (3.0%)	513 (5.0%)
千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	長野県	新潟県	富山県	石川県	福井県	静岡県	岐阜県	愛知県
513 (5.0%)	620 (6.0%)	513 (5.0%)	106 (1.0%)	206 (2.0%)	205 (2.0%)	107 (1.0%)	104 (1.0%)	104 (1.0%)	307 (3.0%)	208 (2.0%)	512 (5.0%)
三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県
102 (1.0%)	102 (1.0%)	310 (3.0%)	512 (5.0%)	512 (5.0%)	102 (1.0%)	105 (1.0%)	102 (1.0%)	105 (1.0%)	203 (2.0%)	308 (3.0%)	103 (1.0%)
徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
102 (1.0%)	104 (1.0%)	101 (1.0%)	104 (1.0%)	513 (5.0%)	104 (1.0%)	105 (1.0%)	103 (1.0%)	101 (1.0%)	103 (1.0%)	100 (1.0%)	102 (1.0%)

◇じゃらんリサーチセンターの概要

「じゃらんリサーチセンター」は、国をはじめ地方自治体、観光関連事業者にとって、すぐに使える情報を広く提供し、かつ、日本の観光振興にさまざまな切り口から提案を行うことで、新しい観光ムーブメントを創出し、観光産業全体のさらなる活性化に寄与することを狙いとし、2005年8月、株式会社リクルート国内旅行カンパニー内に設置された組織です。

昨年度1年間(2006年4月～2007年3月)の全国の宿泊旅行※1者数は、延べ約1億7,400万人(昨年比2.8%減)。延べ宿泊数は約2.93億泊(昨年比5.0%減)であり、延べ宿泊旅行者数・延べ宿泊数ともに、昨年と比べてやや減少している。

宿泊旅行経験者の年間平均旅行回数が、2.78回→2.77回と微減し、昨年度1年間に宿泊旅行を行った人の割合が、66.1%→64.7%と減少している。これは、昨年度「愛・地球博」効果によって宿泊旅行実施者の裾野が広がったものが、一昨年の水準に戻ったことなどが影響していると推測される。

※1 宿泊旅行…国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。

◇延べ宿泊旅行者数の推計方法

	H17.10.1現在 国勢調査人口	調査結果			推計値		
	人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) 	宿泊旅行 経験者の 年間平均 旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行 経験者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数 (泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A×B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A×B×C	延べ 宿泊数 (万泊) A×B×C×D
20～34歳 / 男性	1,289	61.0	2.59	1.83	786	2,036	3,726
20～34歳 / 女性	1,250	67.1	2.64	1.68	839	2,214	3,720
35～49歳 / 男性	1,234	60.4	2.46	1.65	745	1,833	3,024
35～49歳 / 女性	1,221	61.5	2.46	1.64	751	1,847	3,029
50～79歳 / 男性	2,246	64.8	3.04	1.64	1,455	4,424	7,255
50～79歳 / 女性	2,447	69.2	2.96	1.71	1,694	5,013	8,572

↑ 上記セルの合計

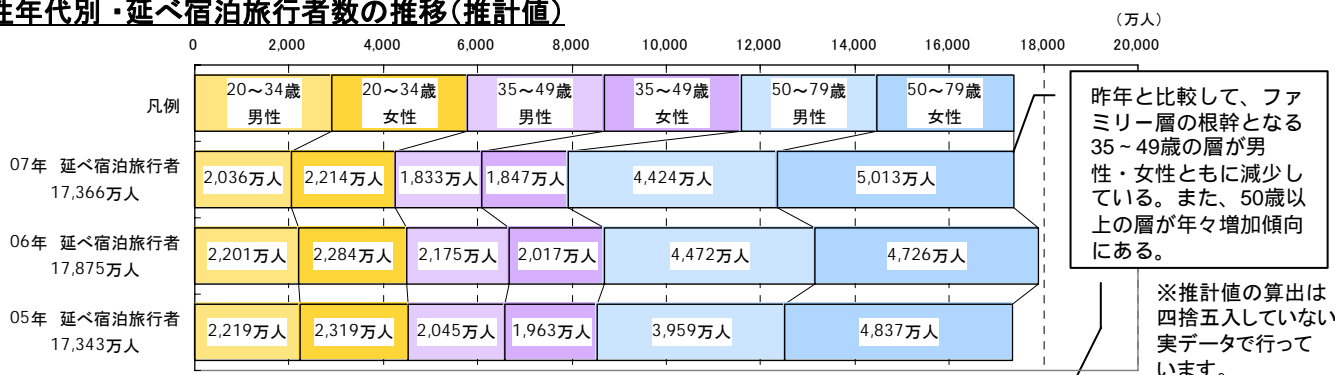
↑ 上記セルの合計 ↑ 上記セルの合計 ↑ 上記セルの合計

[07年]全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
[06年]全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
[05年]全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024
	<a> (万人)	b÷a (%)	c÷b (回)	d÷c (泊)	 (万人)	<c> (万人)	<d> (万泊)

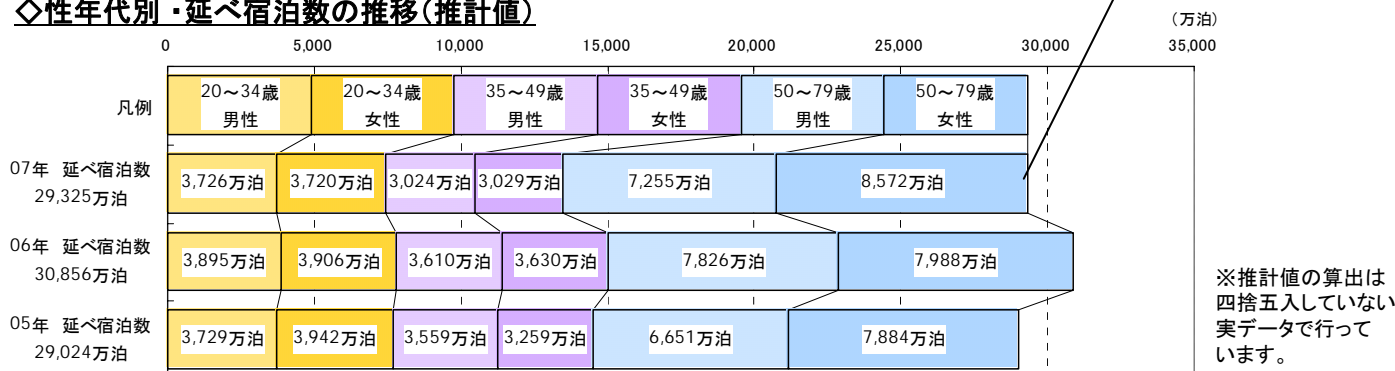
※推計値の算出は四捨五入していない実データで行っています。

※05年、06年調査について、各年10月1日現在の推計人口(総務省統計局発表)を用いて行っています。

◇性年代別・延べ宿泊旅行者数の推移(推計値)



◇性年代別・延べ宿泊数の推移(推計値)



TOPIC 宿泊旅行にかけられた費用

全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は約8.6兆円(昨年比1.9%減)で、昨年と比べてやや減少している。

1回あたりの宿泊旅行にかけられた費用はほぼ横ばいであり、費用総額の減少は延べ宿泊数の減少の影響を受けたものと思われる。

全国の宿泊旅行にかけられた費用総額は、合計総額約8.6兆円、個人旅行※2による消費約7.2兆円、パック旅行による消費約1.4兆円と推計され、いずれも若干ながら減少している。

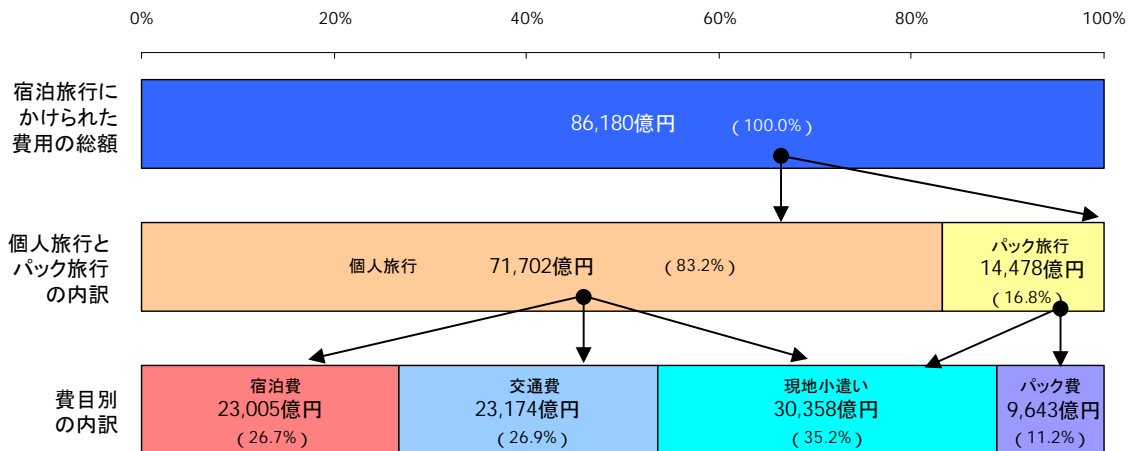
1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用※3は、49,200円→49,500円とほぼ横ばいであった。宿泊旅行にかけられた総額に対する現地小遣い※4の割合は、個人旅行・パック旅行とも約3.5割を占めている。

※2 個人旅行…個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

※3 1回の宿泊旅行にかけられた1人あたり平均費用…1回の宿泊旅行にかけた費用について、個人旅行の場合、1人あたりの宿泊費・交通費・現地小遣いの合計、パック旅行の場合、1人あたりのパック費・現地小遣いの合計、20歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている。

※4 現地での小遣い…旅行先での飲食・買い物、娯楽費、目的エリア内での移動費用を含む。

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)



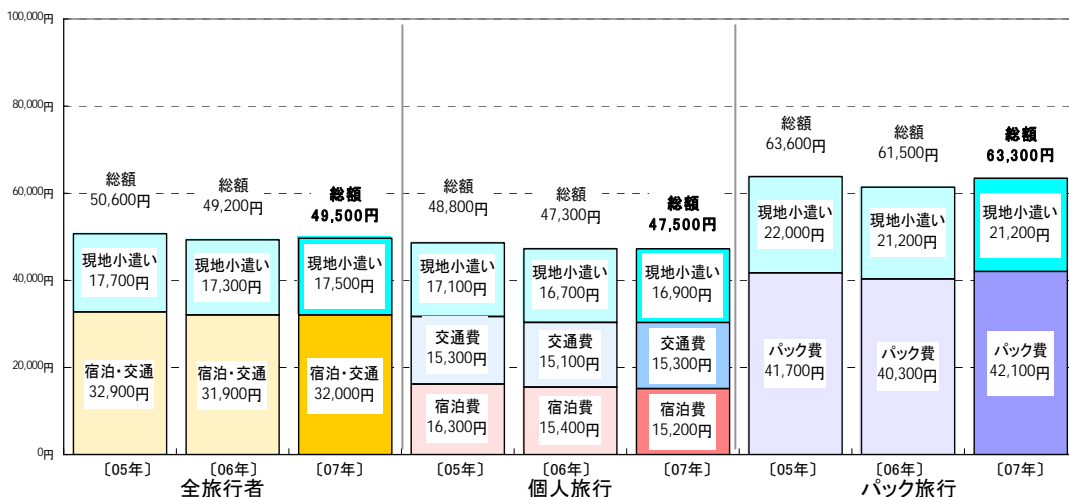
(単位:[上段]億円、[下段]%)

〈参考〉05年-07年比較 宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)

	宿泊旅行にかけられた費用の総額	個人旅行とパック旅行の内訳		費目別の内訳			
		個人旅行	パック旅行	宿泊費	交通費	現地小遣い	パック費
07年	86,180 (100.0%)	71,702 (83.2%)	14,478 (16.8%)	23,005 (26.7%)	23,174 (26.9%)	30,358 (35.2%)	9,643 (11.2%)
06年	87,889 (100.0%)	73,372 (83.5%)	14,518 (16.5%)	23,895 (27.2%)	23,515 (26.8%)	30,960 (35.2%)	9,520 (10.8%)
05年	87,835 (100.0%)	73,957 (84.2%)	13,878 (15.8%)	24,715 (28.1%)	23,265 (26.5%)	30,771 (35.0%)	9,084 (10.3%)

◇1回の宿泊旅行にかけられた費用(大人1人あたり)

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合があります。



＜宿泊旅行費用総額の推計方法＞

- ①集計データより性・年代別に個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④全国の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

「延べ宿泊旅行者数の多い旅行先」「宿泊旅行にかけられた費用総額の多い旅行先」は、昨年と同様の顔ぶれが上位に並ぶ。

昨年度「愛・地球博」効果によって順位を上げた愛知県が、今年はTOP10圏外で、一昨年並みの順位となった。

※ 1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回がおこなわれたとカウントしている。

◇都道府県別の延べ宿泊旅行者数(推計値)

※上位10都道府県 + 愛知県

全体			
2007 推計値	順位変動	2006 推計値	
1位 東京都	1,610万人	←	(1位 1,629万人)
2位 北海道	1,298万人	←	(2位 1,376万人)
3位 長野県	946万人	←	(3位 1,009万人)
4位 静岡県	877万人	←	(4位 986万人)
5位 神奈川県	823万人	←	(5位 887万人)
6位 京都府	767万人	←	(6位 754万人)
7位 大阪府	752万人	←	(7位 727万人)
8位 千葉県	659万人	←	(8位 670万人)
9位 兵庫県	587万人	↑	(10位 574万人)
10位 福岡県	557万人	↑	(13位 520万人)
14位 愛知県	437万人	↓	(9位 668万人)

(参考) 愛知県 : 2005 推計値 = 13位、455万人

※上記の人数には、出張・帰省・修学旅行等による宿泊者数は含まない。

〈参考〉延べ宿泊旅行者
06→07増加数(推計値)

※上位5都道府県

1位 新潟県	47万人
2位 三重県	44万人
3位 福岡県	37万人
4位 山形県	32万人
5位 熊本県	25万人
5位 大阪府	25万人

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)

※上位10都道府県 + 愛知県

全体			
2007 推計値	順位変動	2006 推計値	
1位 東京都	10,950億円	←	(1位 11,013億円)
2位 北海道	9,053億円	←	(2位 9,664億円)
3位 沖縄県	4,661億円	←	(3位 5,097億円)
4位 京都府	4,510億円	←	(4位 4,471億円)
5位 大阪府	3,943億円	←	(5位 3,885億円)
6位 長野県	3,857億円	←	(6位 3,870億円)
7位 神奈川県	3,546億円	←	(7位 3,566億円)
8位 静岡県	3,219億円	←	(8位 3,436億円)
9位 千葉県	3,074億円	↑	(10位 3,252億円)
10位 福岡県	2,949億円	↑	(12位 2,495億円)
12位 愛知県	2,019億円	↓	(9位 3,296億円)

(参考) 愛知県 : 2005 推計値 = 12位、2,014億円

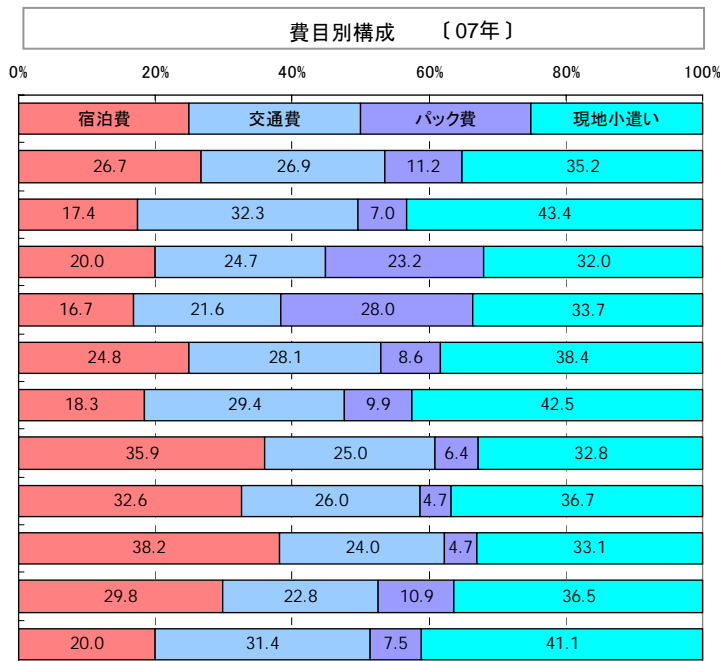
〈参考〉費用総額
06→07増加額(推計値)

※上位5都道府県

1位 福岡県	454億円
2位 新潟県	292億円
3位 和歌山県	205億円
4位 群馬県	186億円
5位 鳥取県	155億円

◇宿泊旅行にかけられた費用総額(推計値)※上位10都道府県

宿泊旅行にかけられた
費用総額



＜都道府県別の宿泊旅行
費用総額の推計方法＞

- ①集計データより都道府県別に、性・年代別に個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②都道府県別に、性・年代・手配方法(個人orパック)別の旅行費用の平均値(単価)を算出
- ③都道府県別に、性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④都道府県別の費用総額について、性・年代別の費用総額の結果を積み上げて算出

■地元ならではのおいしい食べ物が多かった

(単位: %)

ー 1位:高知県、2位:北海道、3位:石川県

「カツオのたたき」が例として多数あげられた高知県が第1位に。
次いで、北海道、石川県と、海の幸が豊富な都道府県が上位に並ぶ。

全体の傾向として、刺身・魚介類一般・カニ・ウニ・エビなど、地元で獲れる新鮮な海の幸をあげる声が多数となる結果になった。

一方で、「香川県のうどん」「沖縄県のゴーヤ料理やソーキそば」「秋田県のきりたんぼ」など、海の幸以外でも特色ある郷土料理がある都道府県が、上位にランクインしてくる結果となった。

全体平均	53.4
1位 高知県	77.0
2位 北海道	70.9
3位 石川県	68.1
4位 香川県	67.8
5位 沖縄県	66.3
6位 秋田県	65.9
7位 山形県	65.0
8位 鹿児島県	64.8
9位 宮城県	64.2
9位 三重県	64.2
9位 長崎県	64.2

■魅力のある特産品や土産物が多かった

(単位: %)

ー 1位:沖縄県、2位:京都府、3位:長崎県

第1位は、特有の文化が際立つ沖縄県。
次いで、日本の伝統文化を感じさせる京都府、舶来文化から生まれた特産品や土産物がある長崎県と続く。

全体の傾向として、お菓子や海産品、または地元産の素材を使った加工食品などをあげる声が目立った。

また、沖縄県は、黒糖・海ぶどう・泡盛・シーサーなど、食品から民芸品までバリエーション豊かな品々があげられている。京都府で多かったのは、和菓子・漬物・和小物。長崎県では、カステラをあげる声が多く、チーズやガラス細工といった声も見られた。

全体平均	41.4
1位 沖縄県	68.9
2位 京都府	58.8
3位 長崎県	57.4
4位 北海道	56.2
5位 香川県	54.4
5位 鹿児島県	54.4
7位 青森県	53.0
8位 高知県	52.9
9位 秋田県	52.6
10位 愛媛県	49.0

■魅力的な宿泊施設が多かった

(単位: %)

ー 1位:沖縄県、2位:大分県、3位:長崎県

リゾートホテル人気の高い沖縄県が第1位。
温泉と伝統ある旅館の人気が高い大分県が第2位に続く。

全体の傾向として、ホテルや旅館の名称をあげる声のほかに、「温泉・温泉街」など、広い範囲を指す言葉を回答する声が多い結果となった。

第1位の沖縄県は、リゾートホテルやオーシャンビューの宿泊施設をあげる声が多く、少数派だがコンドミニアムという回答も複数あった。第2位の大分県は、歴史のある旅館の名前をあげる声が多く、「温泉」や「由布院」といった回答も多い。第3位の長崎県は、ハウステンボス周辺のホテルをあげる声が多かった。

全体平均	36.1
1位 沖縄県	57.5
2位 大分県	52.2
3位 長崎県	49.2
4位 千葉県	46.6
5位 岐阜県	43.6
6位 神奈川県	42.4
7位 北海道	41.9
8位 群馬県	41.0
9位 熊本県	40.5
10位 兵庫県	40.4

■地元の人々のホスピタリティ(おもてなしの心)を感じた

(単位: %)

ー 1位:沖縄県、2位:鹿児島県、3位:青森県

沖縄県が、第2位と10ポイント以上離して第1位になる。

第1位の沖縄県が、2位以下を10ポイント離す結果となった。

九州エリアと東北エリアの県が、数多くトップ10入りしている。

※本設問では、フリーコメントの回答を設定していない。

全体平均	24.3
1位 沖縄県	50.1
2位 鹿児島県	37.4
3位 青森県	35.2
4位 高知県	33.5
5位 秋田県	32.7
6位 宮城県	32.5
7位 奈良県	32.4
8位 岐阜県	31.4
9位 大分県	30.9
10位 山形県	30.4

(単位:%)

■子供が楽しめるスポットや施設が多かった

ー 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:大阪府

「東京ディズニーリゾート」を擁する千葉県が、断トツの第1位。
次いで、自然の「海」や「沖縄美ら海水族館」が人気の沖縄県、「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」や「海遊館」がある「大阪府」と続く。

全体の傾向として、テーマパーク・水族館/動物園・自然体験できる施設などが高い支持を集める結果となった。

第1位は千葉県。2位以下を20ポイントの大差で離しており、回答の大半が「東京ディズニーリゾート(東京ディズニーランド・東京ディズニーシーという回答を含む)」であった。

全体平均	20.9
1位 千葉県	58.9
2位 沖縄県	37.7
3位 大阪府	35.3
4位 三重県	31.9
5位 和歌山県	27.3
6位 栃木県	26.5
6位 長崎県	26.5
8位 神奈川県	24.3
9位 東京都	24.2
10位 福岡県	22.5

(単位:%)

■若者が楽しめるスポットや施設が多かった

ー 1位:千葉県、2位:沖縄県、3位:大阪府

トップ3は、“子供が楽しめるスポットや施設”と同じ順位だが、事例として、テーマパークに加えて、沖縄県の「国際通り」、大阪府の「アメリカ村」「梅田界限」など、買い物が目的と思われる答えが目立ってくる。

全体の傾向として、テーマパーク・水族館・買い物目的の街や施設をあげる声が目立つ結果となった。マリンスポーツや野球場と回答する声も多い。

第1位の千葉県は、「東京ディズニーリゾート」が圧倒的な人気だが、第2位の沖縄県、第3位の大阪府は、テーマパークに次いで買い物目的の回答が多い。

全体平均	25.3
1位 千葉県	56.4
2位 沖縄県	53.9
3位 大阪府	49.2
4位 東京都	45.3
5位 福岡県	40.0
6位 神奈川県	31.2
7位 長崎県	28.8
8位 三重県	27.6
9位 長野県	26.0
10位 北海道	24.9

(単位:%)

■大人が楽しめるスポットや施設が多かった

ー 1位:千葉県、2位:京都府、沖縄県

「東京ディズニーリゾート」の人気の高い千葉県が第1位。
「寺院」「神社仏閣」や「祇園」の人気の高い京都府と、「沖縄美ら海水族館」「首里城」「国際通り」が人気の沖縄県が第2位に。

全体の傾向として、“子供が楽しめる・・・”“若者が楽しめる・・・”と比べて、多岐にわたるスポットや施設があげられる結果となった。名所・旧跡や自然園、テーマパーク、美術館、温泉、買い物などの回答が目立つ。

第1位の千葉県では、「東京ディズニーランド」のほかに「鴨川シーワールド」などの声があがっている。

全体平均	39.0
1位 千葉県	56.4
2位 京都府	55.4
2位 沖縄県	55.4
4位 東京都	49.4
5位 大阪府	47.7
6位 長崎県	45.8
7位 福岡県	44.8
8位 奈良県	44.5
9位 神奈川県	44.3
10位 大分県	42.2

<ランキングの算出方法>

①各テーマに関して、訪問した都道府県の評価を「そう思う」「ややそう思う」「普通」「ややそう思わない」「そう思わない」の5段階から選択。

②「そう思う」「ややそう思う」の合計した割合が多い順に都道府県をランキングしている。

※集計は、延べ宿泊旅行件数をベースとしている。

<コメントの回答方法>

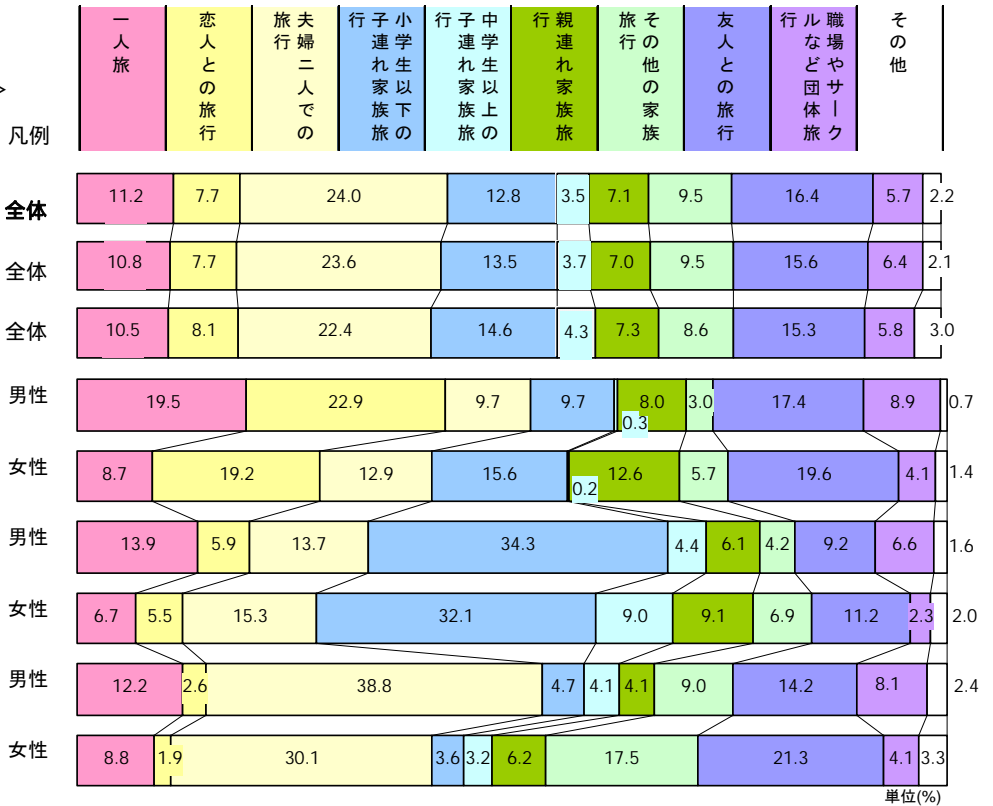
①「そう思う」「ややそう思う」と回答した設問に対して、任意で、具体的にどのようなものがよかったのかについてフリーコメントを記入をしてもらっている。

※対象設問:「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」「魅力のある特産品や土産物が多かった」「魅力的な宿泊施設が多かった」「子供が楽しめるスポットや施設が多かった」「若者が楽しめるスポットや施設が多かった」「大人が楽しめるスポットや施設が多かった」

<参考:その他の調査結果>

◇宿泊旅行の同行形態

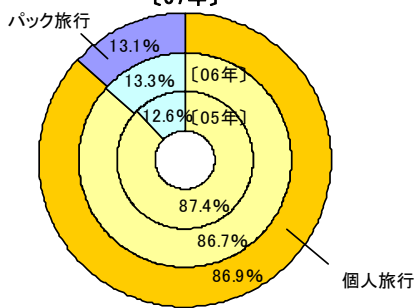
<ベース:延べ宿泊旅行件数>



[07年] 性年代別内訳

◇宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>



◇性・年代別 宿泊旅行の手配方法

<ベース:延べ宿泊旅行件数>

	個人旅行			パック旅行			
	[07年]	[06年]	[05年]	[07年]	[06年]	[05年]	
全体	86.9	86.7	87.4	13.1	13.3	12.6	
20~34歳	男性	91.0	90.9	91.9	9.0	9.1	8.1
	女性	86.8	87.4	87.0	13.2	12.6	13.0
35~49歳	男性	91.3	91.5	91.5	8.7	8.5	8.5
	女性	88.4	87.4	88.4	11.6	12.6	11.6
50~79歳	男性	88.1	87.6	88.5	11.9	12.4	11.5
	女性	81.8	81.3	82.6	18.2	18.7	17.4

単位(%)

※ 個人旅行…個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む。

◇宿泊旅行の目的(複数回答) <ベース:延べ宿泊旅行件数>

